

廣讚寺

ジャーナル

第75号

(発行所)

真宗大谷派
松岡山 廣讚寺
中村区城戸町3-30
TEL.(052)411-5301
FAX.(052)411-5341
携帯 090-1568-4623
<E-mail>
matsuoka@kosanji.or.jp

母を想う

仏前で心静かに手を合わせていた母の姿を思い出しております。

いつも仏壇に花を飾り、お供え物を準備して・・・我が家では見慣れた光景も、私にとっては印象深いひとコマです。

日々の営みは小さなものかもしれませんが、それを毎日続けるというのは大変なこと。

温かな心配りからは、母が仏様を大事にする気持ちが伝わり、心が洗われるようでした。

ぬくもりに満ちた面影を偲べば別れが切なくなりますが「お疲れ様」と労をねぎらい、先に待つ父のもとへ見送ります。

～長女より



聞きに行く

佐久間政子 晃雅

名古屋教区第二十組同朋大会が名古屋別院にて行われました。ご縁があつて姜尚中氏かんさんじゅん、尾畑文正氏ぶんしょうの講演に居させていただいた。

始めは「そうそう、ふんふん」と聞き領うなづいて、この言葉は欲しい、これにはついていけそうもないと偉そうに『心』『不安』私の中は同じで立ち止まっても歩み始めても物事とは進んでいくが『心』『不安』は立ち止まったままの私です。

パネリストの先生のように世の中も広く沢山の人の会い、又は導き教え伝え、いろんな言葉を持ち合わせている人と同列には並んだりできない。けれども心を開くために自問自答して、人に初めて打ち明けられて和むことで私の今は進行中。

話を聞くということと人と話したりして周りの皆様

は本当に内容を理解していらつしやる。それなのに私の頭の中は「？」が飛びかっついていて終りのところは正直「？」でわからない人です。それでも一つでも拾うことができたなら幸い。

的外れかもしれないが「凡夫」という、教え導かれて動く人、こうあれと言う人、共に手を携える人「？」で終わりがたくない。そんな言葉と話の中に先の先のいつかの日もいられるといいですね。

春の滋賀の寺へ

佐久間政子 晃雅

桜は散り昨日明日と温度差もあり、今日は花冷えの一日。廣讚寺同朋会バス旅行の共をして同朋の念仏に出かけ、少しの行き違いが起きての中の赤野井東別院へ。うす暗い御堂の中にこれもありませんね。

正面にいらっしやる、杉板か、お軸か定かではないが親鸞聖人をいただいて一瞬びっくりもしました。それなのに二度目だったとは。かすかに、幹の分かれた松をと思う。これで心に刻むことになりました。

境内裏庭の八重桜をほめて、親鸞聖人、蓮如上人も・・・いてくださったと心に伝え西別院にて。いつもの並びでなく聖徳太子にも御目文字もした一日です。何か良いことにつながるいいね。

錦織寺に。寺の歴史はその寺にあり、今が伝わり、言うに言われぬ心に届き、毘沙門天像にもお会いし、それと御影堂に上げられている親鸞聖人が亡くなられてから天皇にいただかれた諡号しごうの「見真けんしん」も知らなかった。そんなこんなで良き一日でした。同朋みんなと話し、笑って楽しい日で、一つ知り又の日も一つ増えておりこうさんに。

なむあみだぶつ



我がふるさと稲葉地(第三弾)

伊藤和美

我がふるさと稲葉地には多くの名所がある。

地下鉄「中村公園駅」を出たところに赤鳥居がある。

高さ24メートル、幅は34メートルの大鳥居で名古屋名物の一つである。昭和4年に名古屋市への合併を記念して豊国神社参道入り口として、地元奉賛会が建立した。

平成元年頃には老朽化が指摘され取り壊し案もあったが、住民や企業の寄付金を集め補修された。

この鳥居から豊国神社までの参道には「九の市」と称して9日・19日・29日に露店が出ている。

立した。

平成元年頃には老朽化が指摘され取り壊し案もあったが、住民や企業の寄付金を集め補修された。

この鳥居から豊国神社までの参道には「九の市」と称して9日・19日・29日に露店が出ている。

この鳥居から豊国神社までの参道には「九の市」と称して9日・19日・29日に露店が出ている。

この鳥居から豊国神社までの参道には「九の市」と称して9日・19日・29日に露店が出ている。

【20組行事予定】

六月二十五日(水) 暁天講座：正賢寺にて

「介護と死に方」講師 蒲池勢至師

行事予定

六月十四日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(木) 二時～四時 学習会

二十八日(土) 十時 二十八日講・女人講

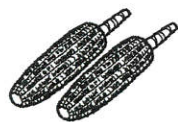
七月十二日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(土) 二時～四時 学習会

二十日(日) 五時半 納涼大会
(雨天決行)

◆◆ 納涼大会 ◆◆

人形劇・金魚すくい・
輪投げ・ビンゴ大会などなど…
楽しい催しものがいっぱい。
どなたでもご参加ください。



二十一日(月) 九時 後片付け

二十八日(月) 十時 二十八日講・女人講